



くしだよし
No.86
令和3.6月

はーとフルみやぞの



宮園地区社会福祉協議会

コロナのワクチン接種が徐々に進んでいます。

ワクチン接種が全体に行き渡るのがいつになるのか分かりませんが、行く先に少し灯りが見えてきた気がします。来年には宮園で安心して何かできるといいですね（ちょっと気が早いかな？）。

「地域の力を発揮する時」

廿日市市議会議員 山下 竜太郎

まず初めに、皆さま方におかれましては、コロナ禍で大変なご苦勞をされておられることを案じております。

さて、3月28日の廿日市市議会議員一般選挙から、早いもので3カ月が過ぎようとしています。選挙では1411票という予想を超える多くの票をいただき、当選することができました。応援して下さる地域の皆さんに“共感”される議員であり続けるために、初心を忘れず、これまでと同様に地域の盛り上げに寄与して参ります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地域のイベントや会議が中止となり、皆さんの顔を拝見できる機会がないことを残念に思っています。

それでも地域の清掃活動などで私を見かけられた際には、顔見知りの方はもちろん、面識のない方からも色々なお話を伺いたいと思っていますので、遠慮なくお声がけください。

私は今、議員研修や勉強会、6月の市議会本会議での一般質問の準備など、議員としての第一歩を歩み始めました。今後は市議会で所属している建設常任委員会の委員として、都市整備に関するを中心に市政について考え、皆さんのお役に立てるよう努めてまいります。

また、選挙の投票率低下など政治への興味・関心が徐々に薄れている現状を打破するために、ホームページやSNS、新聞「竜太郎がゆく」などで、市政や地域の情報を皆さんにお届けして参りますので、ぜひご覧ください。

コロナが終息して日常生活が戻った際には、皆さんと笑顔でお会いしたいと思います。お互い、健康に気を付けて頑張りましょう。

（宮園上2丁目在住）

「コロナ禍を『災い転じて幸いとなす』機会に」

廿日市市議会議員 隅田 仁美

人類が地球に誕生して約700万年。人類はこれまで、様々な環境の変化に適応して生き延びてきました。もちろんその中には、感染症に立ち向かい乗り越えてきた歴史もあります。

私たちは今、感染防止策に取り組む中で、大切な家族や身近な人々を守り、“見知らぬ大勢の人たちを守るための気遣い”を基盤としながら、コロナ危機が日常化する中で生活しています。

直接的な接触を避けるために一定の距離を確保する「ソーシャル・ディスタンス」をはじめ、在宅での仕事の推奨やオンライン授業の導入などによる「リモート化」や、不要不急の外出を控える「ステイホーム」の推進など、急激な感染拡大を抑え、医療現場の逼迫を防ぐための取り組みが広がってきた意義は大きいでしょう。しかし一方で、社会的なつながりによって支えられてきた人たちの生活や尊厳に、深刻な影響が生じている側面もあります。

身体的距離をとりながらも、人と人との結びつきや、心の距離だけは近くにありたいものです。それは、コロナ禍も含めた、災害に負けない安心・安全の地域の土台となると思います。予期せぬ困難を新たな飛躍の好機に転じていくためにも、感染防止対策と併せ、「連帯して危機を乗り越える意識」の共有と温かな励まし合いで、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

(宮園2丁目在住)

「何気ない日常にある幸せ」

廿日市市議会議員 水野 善文

皆さま、こんにちは。この度、廿日市市議会議員となりました水野善文と申します。日頃より、宮園をお支え下さり誠にありがとうございます。

私は宮園に生まれ育ち、現在は結婚をしまして、妻と子どもと両親とで宮園の実家に二世帯で暮らしております。

私が政治を志したのは、高校3年生の時に、「誰かが何かをしなければ世の中は変わらないんだ」と感じる出来事があり、政治の道で世の中のお役に立ちたいと思ったことがきっかけでした。

小さな時の宮園の記憶は、町内のイベントが多く、公園を駆け巡って友達と遊び、道を歩いているだけで、友達や近所の方など、挨拶やお声をかけてくださり、とても温かく、明るく育った印象が大きいです。それが、宮園で子育てをしたいと思うきっかけにもなったと感じております。

しかし、現在、コロナの影響により、地域活動がなくなり、人とふれ合う機会が激減し、見えない“恐怖心”や“不安感”が、私たちの心を蝕んでいます。

マイナスな思いに負けないためにも、明るく・元気に・前向きな心を維持し、健全な体づくりをして免疫力を高めていきたいものです。そして、コロナが唯一教えてくれたことが日常の当たり前の生活の中にこそ、“幸せ”があったということでした。

「朝の来ない夜はない」と心に問いかけながら、皆様と明るい未来のために、これから地域で活動していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(宮園3丁目在住)



令和2年度事業報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、例年開催している下記の事業を開催することが出来なかった。

役員会

総会…文書審議

委員会

集い…「ほっとサロン宮園」、「ミニ集い」

勉強会

宮園市民センターとの共催事業

敬老会・宮園フェスティバルへの協力

令和2年度に実施した事業

- ・「はーとフルみやぞの」の発行…6月・9月・12月・3月
- ・マスク・コロナ関連文書の配布



令和2年度収支決算報告および監査報告

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科 目	決算額	予算額	科 目	決算額	予算額
前年度繰越	246,759	246,759	市 社 協	5,000	5,000
会 費	181,300	181,500	事 務 費	20,445	30,000
市社協より補助金	30,000	30,000	広 報 費	57,332	55,000
集い会費	0	15,000	活 動 費	17,580	300,000
雑 収 入	0	50,000	備品購入費	0	50,000
寄 付 金	0	15,000			
利 息 他	4	2			
収 入 小 計	211,304	291,502	支 出 小 計	100,337	440,000
			次年度繰越	357,726	98,261
収 入 合 計	458,063	538,281	支 出 合 計	458,063	538,261

上記の通り報告いたします。

令和3年 3 月 26 日

会計 木建真由美 印

会計 梅田康子 印

決算報告書・金銭出納簿・預金通帳・領収書及び関係書類を照合した結果、適正に処理記録されていたことを報告いたします。

令和3年 3 月 26 日

監査 杉本信芳 印

監査 伊藤花子 印

令和3年度事業計画

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況の予測が立たないため、広報活動を除いて、やむをえず活動を休止する。

なお、実施可能な状況になった場合は活動を再開することとする。

令和3年度収支予算

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	令和2年度決算額	備 考
前年度繰越金	357,726	246,759	
会費収入	0	181,300	1,813戸×@100円
市社協より補助金	30,000	30,000	
集い会費(@¥100)	0	0	
雑収入・フェスタ	0	0	
寄付金	0	0	
利息他	4	4	
収入合計	387,730	458,063	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	令和2年度決算額	備 考
賛助金	5,000	5,000	市社協へ
事務費	25,000	20,445	
広報費	60,000	57,332	広報誌(年4回発行)経費
活動費	50,000	17,580	毎月集い他運営費
支出小計	140,000	100,337	
次年度繰越金	247,730	357,726	
支出合計	387,730	458,063	

